


令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 島根県 】

学校名【 大田市立第三中学校 】

1 実践テーマ	㉠・II ㉢・IV・㉤（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	1年生5名、3年生7名、計12名。
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>㉠ 教科名（ 保健体育 ）</p> <p>㉡ 行事名（ ）</p> <p>㉢ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>㉠ イベント名（ ）</p> <p>㉡ その他（ ）</p>
4 目 標 （ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者との出会いを通して、自分の見聞を広げる。 ・パラリンピック競技の体験を通して、身体障がいの理解を深め、コミュニケーションやチームワークを学ぶ。 ・一流トレーナーの指導やオリンピックの指導を受けることにより、トップアスリートの身体の使い方を学ぶ。
5 取組内容	<p>(1) ボッチャ体験（11月18日：細井利美様、雲石和仁様） 障がい者スポーツ協会の講師を招き、ボッチャを体験した。 ルールや技能の丁寧な説明の後、全員で競技を楽しんだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) コアトレーニング体験（12月9日：竹原亮紀様、児玉春花様） スポーツトレーナーを招き、体幹トレーニングを中心とするコアトレーニングを体験した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(3) オリンピアンによる講演会（12月20日：平岡拓晃様） ロンドンオリンピックの柔道銀メダリストを招いての講演会と柔道体験を行った。</p>

	
<p>6 主な成果</p>	<p>(1) ボッチャ体験の成果 競技を重ねるにつれ、作戦を立てたり、良いプレーを互いにたたえ合うなど、コミュニケーションを高め合うことができた。また、競技の奥深さを体感し、身体障がいの理解を進めることができた。</p> <p>(2) コアトレーニング体験の成果 単なる筋肉トレーニングではなく、身体の操作性を学ぶトレーニング方法は、トップアスリートの鍛錬方法としてだけではなく、スポーツを通じて生涯健康に過ごしていくヒントにつながった。また、トップアスリートに共通する人間性の高さなど、生徒の成長に役立つお話をいただいた。</p> <p>(3) オリンピアンによる講演会の成果 「自立とは」というテーマで講演をしていただいた。コロナ禍で行われた今年のオリンピック会場の様子や、数値化できない心の動きが人の背中を押していくことなどを、ご自身の体験を元に分かりやすくお話しいただいた。また、柔道実技を披露して頂き、柔道部員だけではなく、他の生徒にも、世界クラスの技を見る良い機会となった。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>少人数で取り組める競技や、本校の簡易柔道場を使用できるトレーニングなどを申し込んだ。</p> <p>また、本校と同様に小規模校でオリパラの活動をしている2つの中学校（浜田市立旭中、浜田市立三隅中）とオンライン交流を3回行い、自分たちの活動を客観視する機会をもった。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>(1) 本校ではボッチャに取り組んだが、パラリンピック競技について計画的に体育の授業に入れても良いと思う。</p> <p>(2) 本県では、取組に柔軟性があるって、各校の裁量を生かせる機会が多かった。予算の執行に当たり、自由度の高さがこの事業の魅力であり、結果的に生徒や地域への還元につながっている。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>本校では、地理的ハンディや、学校の規模的ハンディを乗り越えるため、外部から講師を呼ぶ事業を積極的に取り組んでいる。特に、実物（プロフェッショナル）に触れる機会の少ない地方の学校では、「本物」の人・事・モノに触れる機会を作りたい。そのような地域でのスポーツの振興こそが、国を挙げてのスポーツに取り組む気運を盛り上げると感じる。したがって、予算が付き、本事業が継続する限り希望していきたい。</p> <p>また、施設や機会に乏しい地方の中山間地域に住むお年寄りは都会のお年寄りに比べスポーツは身近ではない。その面からも、今以上に広く地域住民をこの事業に取り込めればと考える。</p>